

県立高等学校活性化計画(仮称)最終案(素案)の構成

次期計画のポイント

- ①これからの中でも必要とされる資質・能力を育む観点を重視し、次期学習指導要領で位置づけられる「主体的・対話的で深い学びの実現」や「カリキュラム・マネジメント」の考え方を踏まえた取組を位置づけたこと
- ②人口減少や生徒数の大幅な減少が見込まれる中、高等学校活性化の取組に、地方創生、地域の担い手育成の視点を取り入れたこと
- ③2学級の高等学校については、地域が一体となって活性化を図る枠組みを設けたこと

1 はじめに

2 県立高等学校をめぐる現状と課題

- (1) 社会の変化
- (2) 教育をめぐる動き
- (3) ニーズの多様化
- (4) 中学校卒業者数の減少

3 県立高等学校活性化の基本的な考え方

- (1) 新しい時代を生き抜いていく力の育成
- (2) 生命を大切にする心を育み一人ひとりに応じた教育の実現
- (3) 人口減少社会における高等学校のあり方
- (4) 学校の組織力と教職員の資質の向上

4 県立高等学校活性化のための取組

- (1) 新しい時代に求められる学びへの変革
 - ①主体的で深い学びに協働して取り組む教育の充実
 - ②生徒の成長を促す評価方法の改善
 - ③カリキュラム・マネジメントを取り入れた学校教育の改善
 - ④ICT活用による学びの充実
 - ⑤特別活動等の活性化

- (4) 地域で学び地域を活かす教育の推進
 - ①地域を学び場とした教育の充実
 - ②大学等と連携した教育の推進
 - ③産業界と連携した職業教育の推進
 - ④地域に根ざした防災教育の推進

- (2) 社会とつながり貢献する力の育成
 - ①社会の一員としての自覚と責任を育む教育の推進
 - ②グローバル人材の育成
 - ③キャリア教育の推進
 - ④学校の枠を越えた学びの充実

- (5) 新しい学びと多様で専門的な教育を実践する教職員の育成
 - ①授業力の向上
 - ②多様な教育課題への対応
 - ③組織運営体制の強化による教育活動の質の向上

- (3) 生徒一人ひとりに応じた多様な教育の推進
 - ①学びに向かう力を育む教育の推進
 - ②特別支援教育の充実
 - ③定時制教育・通信制教育の充実
 - ④外国人生徒教育の充実
 - ⑤経済的に不利な環境にある生徒の支援

5 社会の変化に対応した県立高等学校のあり方

- (1) 各学科の活性化
 - ①現状と課題
 - ②各学科の活性化の方向性

- (2) 県立高等学校の規模と配置
 - ①基本的な考え方
 - ②高等学校の規模と配置